

平成 30 年度

学校経営の基本構想

チーム上賀茂

組織で動く。

持続可能な取組を丁寧に進める。

見通しをもって、計画的に進める。

児童の自己決定力を高める。

～子ども達の安心・安全・健康・元気・笑顔のために～



平成 30 年 4 月

京都市立上賀茂小学校

平成30年4月2日
京都市立上賀茂小学校

平成30年度

学校経営の基本構想

学校教育目標

『自分で考え 正しく判断し 進んで行動する子どもの育成』

めざす子ども像

考える子

よく見て、しっかり聴き、自分の事として考えることができる。

判断できる子

知識や経験を活用し、違う考え方を認め合い、正しく判断できる。

進んで行動できる子

目標達成や課題解決に向けて、自分で決めたことに自信と責任をもち、進んで行動できる。

学校教育目標を具現化する教職員の姿

- * 寄り添いを大切にして、促したり時間やヒントを与えていたりしながら、児童の「自己決定力」を高める。
- * 指導や注意の際、児童に「なぜ」を理解させる。
- * 集団の中で個人を叱責したりせず、「どうすればよかったです」「今後どうしていくか」を考えさせる。
- * 長所や強みを生かして、子どもと積極的に関わる。
- * 学年・学校運営に進んで参画し、短いスパンでの振り返りを大切にしてマネジメントする。

望ましい組織の姿

- * 日常的に、子どもの見取り（特に成長面）を話題にして、気軽に喋ることができる。
- * 気付きや思いを声に出し合い、拾い合うことができる。
- * 確認の声を掛け合い、ケアレスミスを減らす（無くす）ことができる。
- * 報告・連絡・相談をこまめに徹底し、情報の共有化を漏れなく行うことができる。
- * 個人ではなく、『部』や『学年』で受け取り、練り上げ、丁寧に発信することができる。
部会 → 企画委員会 → 職員会議 を効果的に連動させる。Ex. 『部会ウィーク』
 - ・「ペーパーレス化」に前向きに取り組み、時間確保に努める。

30年度 重点課題

1. 研究・・・「特別の教科 道徳」

* 「しなやかな道徳」研究指定校（加茂川中学校区5校）

* 2月1日（金）支部研究発表（加茂川中学校区を含む）

2. 外国語活動・・・時数、教材、単元を確認して計画的に！

中学年・・・35時間

高学年・・・70時間

* 年間指導計画案に基づいて

3. 3学期制を見据えて・・・通知票3回

* 日常評価の積み重ね（補助簿等の活用）

* 学期末個人懇談の効果的活用

4. 接続・連携

* 保育園・幼稚園との接続・・・スタートカリキュラム、授業公開（参観）

「豊かな学びリーディングスクール」研究指定

* 中学校との連携、一貫の取組・・・道徳を中心に授業交流、合同研修

「しなやかな道徳」研究指定

5. 働き方改革

* 時間・・・朝「早くても7時半」、終了退勤「平日8時」「週末7時」で計画する。

→ 「どうしても」の時は、事前に教頭先生に連絡する。

* 健康に留意・・・持続可能な、無理の無い（少ない）取組を！

* 学年会をキープ（火曜日）・・・計画や見通しを確実に共有する。

* 会議・研修の効率化・・・終了時刻を設定して計画・実行する。

職員会議のペーパーレス化に前向きに取り組む。

<最重点課題>

* 指導・支援の必要な児童・家庭への対応（LD等・虐待・不登校etc.）

1. 育成学級1組の運営（13名・3教室）

2. 実態・ニーズに応じた的確な支援体制・・・「個別の指導計画」の活用

3. 有効な交流及び共同学習

研究教科 「特別の教科 道徳」

「しなやかな道徳」教育研究指定校

<5校研究主題>

「主体的に判断・行動し、他者とよりよく生きようとする児童・生徒の育成」

<共通の重点>

「自主自律・思いやり」

<具体的な取組>

- (1) 授業研究・・・授業づくりの視点
 - ・ねらいの明確化
 - ・発問の吟味
 - ・自己のふりかえりの充実
- (2) 5校合同授業研究会
 - 6月16日(土)・・・加茂川中学校休日参観の道徳の授業を参観する。(任意)
 - 2月1日(金)・・・上賀茂小学校研究発表(支部の研究発表を兼ねて)
*本校以外の3小学校の公開授業や授業研究会等があれば参加する。
- (3) 昨年度と同様、3つの部会に分かれて進める。
*Ex.「研究推進」「評価・ふりかえり」「自作教材作成」etc.

学習スタンダード

国語の研究で培ったことを他教科に生かす。

- (1) 「つけたい力」を明確に！
- (2) 「出口でのあるべき姿」を具体的に！
- (3) 「めあて」と「ふりかえり」を連動させて！



仕事スタンダード

達成感と疲労感のバランスを考え、心身の『健康維持』を！

- (1) 見通しをもって計画的に。
 - ① 見通し・・・学期、月、週、日、単元、1時間、外部との関わり etc.
 - ② 時間・・・1日の「終了時刻」の設定 「平日20時・金曜日19時」
 - ③ きりをつける
- (2) 子どもの見取り・見守りを的確に。
 - ① 自分の強みや長所を生かして「オンライン」の深い関わりを！
 - ② 常に「いいとこ見つけ」のアンテナを張り巡らして！
 - ③ 言葉や文字でタイムリーな「プラス発信」を！
- (3) 保護者との関わり・支援を丁寧に。
 - ① 普段を大切に！
 - ② 徹底的に聞く！
 - ③ 電話・家訪・来校を使い分けて！



環境スタンダード

- (1) 教室・廊下の構造化
 - *子どもの動線や学習効果を考えて機能的に！
- (2) ごみの分別の徹底と減量化
 - *計画の段階から意識して！
- (3) 節約意識の向上と継続実践
 - *「○○放し」「○○忘れ」に注意徹底！

